



自  
転  
車  
の  
細  
き  
轍  
の  
つ  
き  
に  
け  
り  
淡  
雪  
残  
る  
ア  
ス  
フ  
ァ  
ル  
ト  
の  
上

# 百人一首大会

二学期補習の最後は、百人一首大会で締めくくりました。現在暗記している札は四十首。二対二の源平合戦で、白熱した戦いを繰り広げました。

ただ、今回残念だったのは、暗唱テストを完遂していない人がたくさんいたこと。隣の視聴覚室で最後までチャレンジしてもらいましたが、それでも五人が残ってしまいました。

こういうテストは、日々の積み重ねがものを言います。もちろん、得手不得手・個人差はあります。でも、じゃあ苦手な人は、とことんまで努力しましたか？……この答えに、「ハイ！」と胸を張って答えられる人はいないので

はないかと思っています。一年生もあと一学期で終了します。次は「先輩」になるんですよ？ 後輩が憧れるような、威厳のある先輩になつてほしいと願っています。



## 百人一首大会 結果 (枚数差の大きいチームから紹介)

- ①坂本葵・池之上陽菜 (25枚差)
- ②遠山菜々香・佐藤咲花 (11枚差)
- ③吉田直弥・山下璃人 (10枚差)
- ④鬼塚ヒカル・高橋愛華 (8枚差)
- ⑤山崎准吾・柳川修哉 (8枚差)
- ⑥松下美波・瀧口瑠莉 (8枚差)



【特別対戦】かるたの得意な2人は、1対1で対戦しました。  
岩村清正 vs 松岡蒼香 (6枚差で岩村君の勝利)

### 本の帯コンテスト 入賞者決定

二学期に、教科書で学習した「星の花が降るころに」の続編を書き、先日の、その本の帯コンテストを実施しました。皆さん(と、佐藤先生・市木先生・日高功輝先生・マッシュ先生)の投票の結果、次の四人が入賞しました。三学期中に製本をするので、お楽しみに……!

#### 【最優秀賞】

瀧口瑠莉

#### 【優秀賞】

四位悠人  
菊田芽  
松木玲乃  
尾崎もも

## 今昔物語集

「古事記」が最終回を迎え、二学期後半から「今昔物語集」を読み始めました。

民間に語り伝えられた物語・神話・伝説・童話など一千話以上を集めたもので、日本で最大の説話集といえます。内容はインド・中国・日本の話に分かれ、「今は昔(むかしむかし)」で始まり、「となむ語り伝えたとや(と語り伝えているとかいことだ)」で結ばれるお決まりのパターンがあります。

### コラムマラソン 第七回 「来年も生きてるかな」

狭間千穂

新年明けましておめでとうございませう。よいお正月でしたか？ 我が家は、単身赴任中の夫を迎え、例年と同じく、ごくフツウの年末年始を過ごしました。しかし、この「ごくフツウ」というのがポイントで、昨年の正月から家族が一人も減らず、フツウにおせちを食べ、フツウに紅白を見て、フツウに初詣に行く……ということのありがたさを、ふと忘れそうになります。事実、熊本ではまた大きな地震が起こり、高千穂では仲の良かった家族が正月によって惨殺され、めでたいはずの正月に暴走車に轢かれて亡くなった若者がいたり、店で食事をしていただけなのに、突然の爆発で大怪我をしたり……。人生は、生と死が隣り合わせです。成人式を明日に控えた二十歳の人たちのいったい何人が、その前日に大きな地震が起こると思っていたか？ 朝、笑顔で家を出た人の何人が、その日のうちに車に轢かれて亡くなることを予想していたか？ きつと、誰一人としてそんなことを考えてもいなかったでしょう。もちろん、私も。「平和ボケ」と言われればそれまでですが、誰だって、常に危機感を持ちながら生活することなんてできない。それならばせめて、平穩無事に生きていられる「今」を、懸命に、全力で、充実した時間にしななければならぬ。「来年も生きてるかな」という、新年早々の母の言葉を聞いて思ったことを書きました。